

くらし 部会

部会長 羽田 大介 副部会長 牧野 清子 大塚 美都子 佐藤 陽介

運営委員会担当者 勝山 淳一 ケアマネ連絡会担当者 二木 里美 青木 麻都香

長野市障害福祉課担当者 瀧澤 卓

1 年間テーマ

『行動障害および支援困難事例の情報共有』

『世話人連絡会 ～GHでの暮らしを考える～』

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
5	16	長野市役所	(執行部)	年間計画の作成	年間計画・次回部会の内容検討
6	13	長野市役所	17	「行動障害の方の支援」	情報交換
7	18	長野市役所	18	「みんな、どんな支援してるの？」	情報交換
8	29	長野市役所	12	「みんな、どんな支援してるの？」	情報交換
9	12	長野市役所	(執行部)	振り返り、世話人連絡会に向けて	振り返り、世話人連絡会準備
10	17	長野市役所	12	世話人連絡会準備会	連絡会内容検討、講師依頼など
11	21	昭和ビル会議室	40	「世話人連絡会開催」	社協からの講義・グループワーク
12	19	長野市ふれあい福祉センター	(執行部)	振り返り・アンケート作成	振り返り、高齢化 WG との共同
1	16	長野市ふれあい福祉センター	(執行部)	全体会に向けて	資料作成・次年度の内容検討
2	25	昭和ビル会議室	※	アンケート分析	※高齢化 WG と合同開催

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

(別添)

4 課題について

(1)主な検討課題

- ①行動障害がある方、またはそれに準ずる方に関する支援について
- ②世話人連絡会の開催
- ③高齢化WGと共同アンケート

(2)検討の目的と結果(現状)

①行動障害がある方、またはそれに準ずる方に関する支援について

様々な支援者に集ってもらい、困りごとや取り組みを話題として話をする中で、直面している課題などを洗い出した。

当初は行動障害の方に関する支援の情報を共有する事を考えていたが、行動障害の有無にかかわらず、医療との連携、高齢化に関する介護との連携、金銭面の課題など様々な困難・課題が浮き彫りになってきた。

(信濃毎日新聞の取材にも協力)

②世話人連絡会の開催(11月 21 日 10:00～12:00)

今回は『利用者のお金の話』をテーマとした。(講師:社会福祉協議会より)

グループホーム内でも介護・医療を必要とする入居者が増加、一人一人のケアの方法についても『お金』が大きくかわってくる。

日常の金銭管理についても一人一人に合わせた方法を考えて、実施している事業所も多く、それぞれの取り組みなどについて情報交換を行った。

③高齢化WGとアンケートの内容について共同で作成。

(配布・回収・集計については高齢化WGにて)

(3)引き続き検討が必要とされる課題

①支援者間の情報共有

行動障害に関わらず、グループホームの支援を行う中に様々な課題が埋もれている事が分かった。こうした課題の掘り起こしだけでなく、効果的だった取り組みに関する情報も共有していくことでよりよい支援につながる。

②世話人連絡会

貴重な「世話人向け」の研修・情報交換の場になっており、グループホームの現場で直面している課題が何か探る機会になっている。

令和6年度 事業報告

③高齢化について

障がいがある方でも長生きできることが当たり前になってきている。だが、その中でこれまでに直面することも、気が付くこともなかった課題が浮かび上がってきている。

高齢化WGとの共同のアンケート結果も良い情報としてあるため、今後も検討を重ね、提言などを行っていく活動が必要。

(4)部会の運営体制について

執行部会8名 長野市・運営・ケアマネも含めて計12名

執行部会の大半が入れ替わってしまう経過がこれまで続いていたが、入れ替わりの頻度を下げる事で継続した運営ができるようになってきている。

月に1度のペースで部会(部会後に執行部会)もしくは執行部会を開催。

ふくしねっと運営会議の翌週に開催としていたため、情報の共有をスムーズに行う事ができた。

5 総括(1年間を振り返って)

情報交換の中で、思いもつかなかった新しい試みなどの情報もあり、様々な実践に触れることができた。苦労・失敗の話だけでなく、成功した話など、ポジティブな話も多く得られた。

世話人連絡会では社会福祉協議会から「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の説明とともに、個別のグループの話にも入ってもらったことでより知識を深める機会となった。

こうした取り組みから、参加者によい情報を『お土産』として持ち帰ってもらう機会が提供できるとともに、執行部のメンバーも最新の状況を深く知る事ができた。

『くらし』の中には非常に多くの要素があり、検討の対象になる事は非常に多岐にわたっていることを改めて実感させられることになった。それに伴い多数の課題を目にすることになった。

情報交換会・世話人連絡会・アンケートの実施などで、これまで表に上がってこなかった情報を多く拾い上げることができた。

次年度により検討を深められるようにできた1年になったと思っている。

